

投稿規定 (平成19年9月20日編集委員会案)

さる平成19年4月7日の総会において、日本医学雑誌の判型を平成20年の第54巻からB5横書きに変更することが承認され、判型変更に伴う投稿規定の改定案を編集委員会において検討し、提示することになりました。今後の投稿にあたっては、この規定に沿ってご執筆をお願いいたします。なお今回の案においては投稿規定を横書きに改め、4執筆要綱のa,iの(例)、8の3ヶ所に訂正を行いました。ゴチャックで表記いたしましたのでご留意ください。

(編集委員会)

- 1 本誌に掲載する論文は医学研究に貢献しうるもので他誌に未発表のものとし、生命倫理および個人情報保護に配慮されたものとする。掲載された論文等の著作権は本学会ならびに著者に帰属するものとする。
- 2 投稿者の資格は共著者も含めて本学会会員とする。ただし編集委員会が特に認めたものはこの限りではない。
- 3 原稿の区分は、原著・総説・研究ノート・広場・資料紹介・消息等とし、それにもとづいて採否および区分を編

集委員会が決定する。

4 執筆要綱

- a **原稿は横書き原稿用紙を使用のこと。ワープロの使用も可。**
- b 原著・総説・研究ノート・広場・資料の場合は、欧文表題・ローマ字著者名を原稿の末尾に記すこと。さらに原著および研究ノートにおいては欧文要旨(250語以内)と和文要旨(欧文要旨の対訳、およそ300字)を添え、その末尾に表題および要旨から選択した和文のキーワード(5語以内)を記すこと。
- c 欧文題名・欧文抄録での日本人名の表記については、5 外国語原稿のe項に準ずるものとする。
- d 原稿の冒頭にタイトル、著者名、著者の帰属等を記載すること。
- e 表記は原則として常用漢字・人名漢字以内で、新かなづかいを使用する。難字は欄外にも楷書で別記する。
- f 外国人の人名・地名は、よく知られたもののほかは初出の箇所に原綴またはローマ字を添えることが望ましい。
- g 図・表は明瞭に書き、写真は原則として白黒の紙焼きとする。裏には著者名・番号・天地を明記し、挿入位置を原稿中に明示すること。
- h 注・参考文献は末尾にまとめ、本文初出順に算用数字

の通し番号(1)、(2)……をつけて、照合の便宜をはか
ること。

i 参考文献の引用の仕方は、

- ①雑誌の場合は、著者名・論文題目・雑誌名・巻・
号・頁・年次(西暦・和暦いずれも可)の順に書く。
- ②
単行本の場合は、著者名・書名・該当頁・発行所名・発
行地・年次を記載する。
- ③編著書の場合は、著者名・論
文題目・著者名(編者名)・該当頁・発行所名・発行
地・年次とする。
- ④古文献の場合、江戸時代以前の国書
については、原則として、編著者名・書名・成立年・刊
行年(もしくは抄写年)・発行者名・発行地など、必要
ならば該当丁(葉)あるいは頁数もしくは項目名を記し、
稀観本については所蔵者名も明記すること。清代以前の
漢籍(和刻本・日本写本も含む)についても、前記に準
ずる。

(例)

【雑誌】 宗田 一「司馬江漢の西遊をめぐる」『日本
医学雑誌』30(4): 425-431, 1984 (または昭和59年)

【単行本】 富士川遊『日本医学史』54, 形成社, 東京, 1972
(または昭和47年)

【編著書】 大塚恭男「中国医学の伝統」村上陽一郎編『医
学思想と人間』(知の改革史6) 63-94, 朝倉書店, 東京,
1979 (または昭和54年)

5 外国語原稿

- a 外国語原稿は、原則として英語・独語・仏語いずれか
とする。
- b 外国語の原稿は原則として、1行約65字、1頁に25
行、ダブルスペース(1行おき)で印字する。
- c イタリック・ゴシック・ギリシャ文字等はかならず朱
筆で指定する。
- d 日本語・中国語を欧文表記する時は、初出の箇所に漢
字を付記する。
- e 日本人名を欧文表記する際には原則として名を先に、
姓を後とする。ただしそれが不自然なばあいはケ-
ス・バイ・ケースで扱って差し支えない。
- f 中国語の欧文表記は、現代中国語音のローマ字綴り
(ピンイン式)とする。引用文献がウェード式の場合
は、この限りではない。
- g 注・文献・図表については、和文原稿の規定に準ずる。
- h 題名中に書名が出現する場合は引用符“ ”で囲み、
イタリック体を使用しない。

(例)

【雑誌】 Nutton V.: Galen in the Eyes of His Contempo-
raries. Bulletin of the History of Medicine. 58: 315-324,
1984.

【単行本】 Temkin, O.: The Falling Sickness: a History of Epi-

lepsy from the Greeks to the Beginnings in Modern Neurology.
2nd ed. 25-40, Johns Hopkins University Press, Baltimore,
1971.

【編者書】 McC. Brooks, Ch. and Levey, H. A.: Humorally

Transported Integrators of Body Function and the Development of Endocrinology. 183-238, in McC. Brooks, Ch. and Craneheld, P.F. (eds): The Historical Development of Physiological Thought. Hafner, New York, 1959.

6 投稿原稿は、コピートを1部添付すること。ワープロで執筆の場合はプリントアウト2部のほかに、電子データ(CD-R、フロッピーディスク等)を添付すること。原稿は著者校正の際も原則として返却しないので、手元にコピーを一部残すこと。

7 著者校正は、原則として原著・総説・研究ノート・広場・資料を対象とし、初校のみとする。校正は印刷上の誤植を訂正するに留め、原稿の改変や、その他の組み替えは認めない。校正刷りの返送期日を厳守すること。期日までに返却されない場合は責了とみなす。

8 刷り上がり10印刷ページまでは原則として無料とし、**超過分と図表製版の実費は著者負担とする。**

9 論文別刷りは50部単位とし、実費で作製する。別刷希望者は校正同封の申込書に部数を明記すること。

10 原稿の送り先

〒 113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

順天堂大学医学部医史学研究室内

日本医史学雑誌編集委員会